

災害に備える



くもしものときの情報収集 自分の命を自分で守る

7月29日の豪雨により町内各地に甚大な被害をもたらしたことは記憶に新しいところですが、このような災害が起こったとき、重要になるのは避難や災害状況などの情報です。
素早い情報収集は、災害による被害を最小限に食い止めることに役立ちます。
これから台風シーズンを迎えるにあたり、豪雨や台風など、起こりうる災害への備えとして、情報の大切さを再度確認してみましょう。

1時間の雨量	雨の降り方と予測状況
10~20mm やや強い雨	ザーザーと降る。地面からの跳ね返りで足元がぬれる。話し声がよく聞き取れない。地面に一面に水たまりができる。
20~30mm 強い雨	どしゃ降り。傘をさしてもぬれる。寝ている人の半数が雨に気づく。ワイパーを速くしても見づらい。側溝や小川があふれ、小規模ながけ崩れが始まる。
7.29の雨量 30~50mm 激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようになる。ハイドロプレーニング現象が起きる。がけ崩れが起きやすく危険地帯では避難が必要。
50~80mm 非常に激しい雨	滝のように降る。傘は役に立たない。水しぶきで一面が白くなり、視界が悪くなる。車の運転は危険。土砂流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80mm~ 猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。大規模災害の発生について厳重な警戒が必要。

気象情報活用で災害の前ぶれをいち早くキャッチ

日本では、台風や低気圧、前線などによる大雨、大雪、暴風、高波、高潮などによって毎年のように風水害、土砂災害などが発生しています。

最近の傾向として、夏の短時間強雨の発生回数の増加、局地的な集中

豪雨による浸水被害や土砂災害、中小河川の急な増水による水難事故など、風水害による被害が目立っています。

このような災害を防止・軽減するために、函館海洋気象台が警報や注意報、気象情報などの防災気象情報を発表し、注意や警戒を呼びかけています。

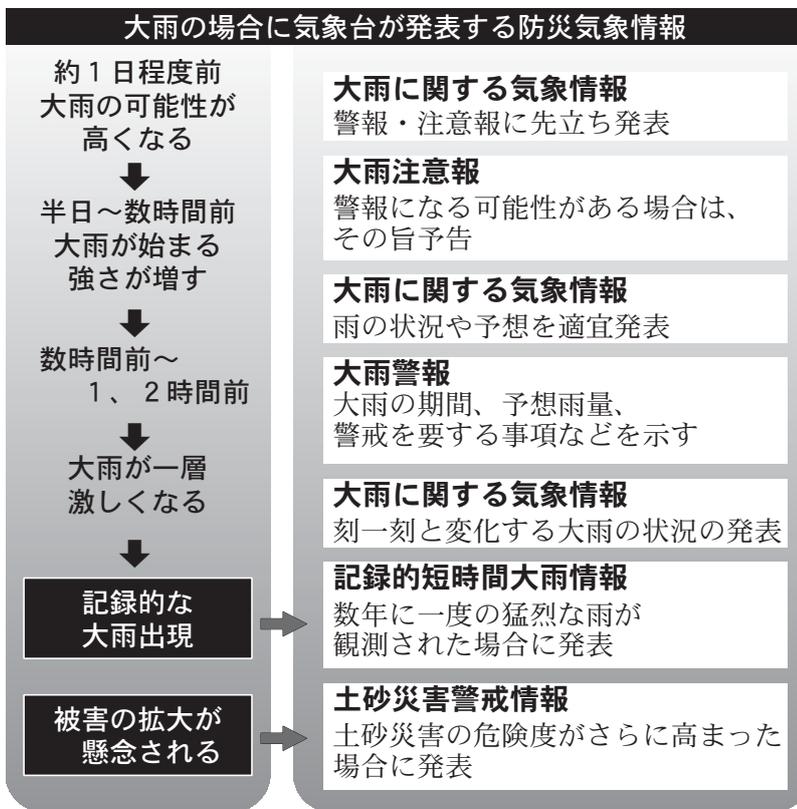
災害が起こるおそれのあるとき

に呼びかけて行う予報が『注意報』で、『大雨注意報』『洪水注意報』『濃霧注意報』『雷注意報』『乾燥注意報』『強風注意報』『大雪注意報』『風雪注意報』『なだれ注意報』『着雪注意報』『霜注意報』『低温注意報』の発表基準がせたな町に設けられています。

さらに重大な災害が起こるおそれのあるときに警戒を呼びかけて

各種防災気象情報のタイミングの例

大雨が予想された場合の各種防災気象情報の内容とタイミングの一例を示します。必ずこのような順序で発表されるとは限りませんが、どんなときにどんな情報が発表されるのかをイメージするのにご活用ください。



【大雨などの気象警報・注意報を市町村ごとに発表】

気象庁は5月27日から、大雨や洪水などの気象警報や注意報の発表対象区域を従来の地域別から「市町村」別に変更。今まで「檜山地方」だったものが「せたな町」となり、より身近で詳細な情報となりました。また、大雨警報を発表する際には、特に警戒が必要な災害を、「大雨警報（土砂災害）」「大雨警報（浸水害）」のようにかっこ書きで表示され、より分かりやすくなりました。※テレビやラジオなどで放送される際、読み上げ可能な文章の範囲内で伝えなければならないことや画面の文字数の制限により、これまでどおりの地域名で放送される場合があります。

行う予報が『警報』です。大雨による重大な災害が発生するおそれがあると判断したときに発表する『大雨警報』、大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表する『洪水警報』、暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表される『暴風警報』や、『大雪警報』『暴風雪警報』の発表基準がせたな町に設けられています。

そのほかにも、大雨警報発表中に数年に1度しか起こらないような1時間に100mm前後の猛烈な雨が観測された場合に気象台から発表される情報「記録的短時間大雨情報」や、大雨による土砂災害発生危険度が高まったとき北海道と気象台が共同で発表する「土砂災害警戒情報」などがあります。

これらの防災気象情報は北海道を通じてせたな町へ、また、報道機関を通じてみなさんのもとへ届けられています。早めの防災対応に活用しましょう。

町が発令する3段階の避難情報

町が発令する避難情報には、要援護者等、避難行動に時間を要する方の避難行動の開始、住民のみなさんの避難準備を促す「避難準備（要援

護者避難) 情報」と、人的被害の可能性が高まったときに避難行動の開始を促す「避難勧告」、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断されたときに発令される「避難指



前兆を見逃さないで 土砂災害を回避する

急斜面が崩れ落ちる災害

がけ崩れの前兆

- ▶ 斜面から水がわき出す
- ▶ 小石がバラバラと落下する
- ▶ 斜面がふくらむ
- ▶ 斜面に裂け目ができる

地層が滑り落ちる災害

地滑りの前兆

- ▶ 急に水がわき出す
- ▶ 山腹に亀裂や段差が生じる
- ▶ 地鳴りがする
- ▶ 池や沼の水位が急変する

大量の水と土砂が流れる災害

土砂流の前兆

- ▶ 溪流の水が急に減る
- ▶ 溪流内で石が転がる音がする
- ▶ 川の水が急激に濁る
- ▶ 木が流れてくる

示」の3つがあります。

防災無線等で町から避難情報が来た場合には、速やかに身の安全を確保してください。また、避難勧告などが出ていなくても、身の回りに危険を感じたら自主的に避難することが大切です。いつ襲われるかわからないからこそ、常に防災の意識をもった行動を心がけ、いざというときは、最寄りの施設へ避難を。
* せたな町の避難場所

・ 一般避難場所 (次ページ参照)
災害が発生したときの初期避難場所 (施設)

・ 広域避難場所

災害が大きくなったり、事前に避難用として利用した場所 (施設) が危険になったときの他の二次的避難場所。また、集団避難輸送の集合同所

なお、広域避難場所については、町ホームページに掲載しています。

情報の発表や内容を知る手段

大雨や台風は地震と違い、気象情報でどこでいつごろ発生するかを把握することができません。ただし、「予測できるから大丈夫」とは限りません。集中豪雨は突発的に起こり、河川の水位が一気に上昇するなどの場合もあります。早めの準備態勢を整えるために、あらゆる手段を駆使して、最新の気象情報や河川情報などを収集しましょう。

多くの人が手軽に情報を知ることができる代表的なものは、ほとんどの家庭に普及しているテレビやラジオによる放送です。電池式のラジオは停電時や持ち運びに適しています。また、テレビは災害情報を見ることができ、近年普及してきた地上デジタル放送対応テレビでは、データ通信からさらに詳細な身の回りの情報をリアルタイムで知ることができます。

* テレビ取り付け式の地デジチューナーには、一部データ通信未対応機種があります。



地デジ対応テレビのリモコン。「データボタン」を押せば、通信が開始されます。

パソコンや携帯電話などは近年普及が進み有効な情報入手手段の一つとなってきました。気象庁ホームページや国土交通省などの携帯電話サイトでせたな町の警報や注意報の内容を確認することができます。

このほかにも家族や近所との連絡も強力な情報収集の一つと言えます。防災無線が聞き取りにくいなど、情報収集がうまくいかないときは頼れる人に聞きましょう。また情報はいち早くキャッチしたら身近な人に声をかけてください。

● 天気や気象予報等に関する質問・相談
「今、降っている雨はいつ頃止むのか」「今、どんな注意報が出ているのか」など、天気や気象予報等をより具体的に知りたい人は、札幌管区気象台の天気相談所まで

☎011-611-0170

● 函館海洋気象台のホームページ
せたな町の、気象警報・注意報・現在の天気などが細かい情報が分かります。



<http://www.jma-net.go.jp/hakodate/index.html>

☎0138-46-2212 (観測予報課)

大成区避難場所	
太田	太田地区防災センター
富磯	富磯生活館
上浦	大成中学校
都	大成農漁村総合センター
本陣・久遠(西部)	久遠小学校
久遠(東部)	東部ことぶきの家
花歌	花歌生活館
宮野	特別養護老人ホーム大成長生園
平浜	平田内小学校
貝取澗	国民温泉保養センター
長磯	長磯小学校

瀬棚区避難場所	
市街地	瀬棚小学校
	瀬棚中学校
	B&G海洋センター体育館
	瀬棚町民センター
	瀬棚老人と母と子の家
	瀬棚ふれあいセンター 瀬棚水産物保管作業所
元浦1～3	旧梅花都小学校
元浦4	元浦漁村センター
島歌1	島歌小学校
	白岩漁村センター
島歌2	島歌母と子の家
島歌3	島歌生活館
北島歌1	美谷青い海の家
北島歌2	北島歌へき地保健福祉館
共和	共和生活改善センター
南川	南川青年研修所
東大里・西大里	馬場川小学校

北檜山区避難場所	
北檜山	町民ふれあいプラザ 町青少年女性研修所
徳島	町高齢者センター(グリーンパレス) 町健康センター 狩場葬苑
豊岡	町民体育館 町青少年センター 北檜山小学校 北檜山中学校
兜野	北部桧山衛生センター
松岡	真駒内ダム公園休憩所
愛知	愛知集落センター 旧愛知小学校
共和	生淵生活改善センター
太櫓	はまなす荘 太櫓小学校
新成	鵜泊団地母と子の家 旧新成小学校
若松・栄	若松基幹集落センター(イロパレス) 若松小学校
小川	小川生活改善センター
富里	左股小学校
二俣	二俣小学校 町農業センター管理棟
西丹羽	玉川小学校
丹羽	檜山北高等学校
東丹羽	丹羽活性化センター(水仙パレス)
小倉山	小倉山小学校

- 非常持ち出し品
- ①貴重品(健康保険証など)
 - ②医薬品(常備薬など)
 - ③照明(懐中電灯と電池)
 - ④ラジオ(携帯ラジオと電池)
 - ⑤飲料水(ミネラルウォーター)
 - ⑥食料品(レトルト食品など)
 - ⑦衣料品(タオル、防寒着など)
 - ⑧その他(ティッシュなど)



避難場所等、防災に関するお問い合わせは

せたな町役場 総務課防災係 ☎0137-84-5111
 瀬棚総合支所 地域町民課地域生活係 ☎0137-87-3311
 大成総合支所 地域町民課地域生活係 ☎01398-4-5511

善意に感謝いたします

7月29日発生の大雨洪水による災害に対し、物資等の無償提供がありました。

- 日本赤十字社檜山地区 毛布50枚
- (有)小崎食料品店 栄養ドリンク300本
- (有)東ハイヤー バス運行の提供(避難者の送迎)
- 北海道コカ・コーラボトリング(株) リテール事業部函館販売部 水(2ℓ)300本

ありがとうございました。(敬称略)